

HTLV-1抗原の検出に関する研究

佐藤洋一、川名 尚

要約：我々は、昭和62年より東大産婦人科及びその関係病院の協力を得て、妊娠中の抗HTLV-1抗体のスクリーニング検査にて陽性と判定された妊婦の出産時の母体血及び臍帯血中の（リンパ球を分離・培養を施行し、）HTLV-1抗原の検索を行っている。

見出し語：HTLV-1抗体測定、臍帯血中HTLV-1ウイルス抗原

目的：抗原の検出とHTLV-1抗体測定結果の関係を明らかにして、垂直感染のハイリスクグループの検討を目的とした。

対象：HTLV-1抗体スクリーニング陽性の妊婦の出産時母体血66例及び臍帯血67例とした。

研究方法：

1、HTLV-1抗体のチェック

HTLV-1抗体はPA法、EIA、IF、WB法を用いて測定した。

2、HTLV-1抗原検索

抗原検索は、Ficoll-Conrey比重分離法にてリンパ球を分離し、RPMI 1640+20% FCS+インターロイキン2の培養液中で培養継続し、IF法にて抗原検索を2ヶ月間、行った。

結果：

1、HTLV-1ウイルス抗原検出率と各PA、EIA、WB及びIF法による抗HTLV-1抗体の測定結果の関係を表1に示した。

2、母体血中抗HTLV-1抗体陽性検体の臍帯血抗原検出率の関係を表2に示した。

考察：

1、低いPA抗体価の場合、偽陽性の例があり、IF法等の確認試験の併用が必要である。

2、PA抗体価と抗原検出率とで、ある程度相関が認められた。

3、2例で臍帯血リンパ球にウイルス抗原を検出したことより、頻度は少ないが、胎内感染も存在すると考えられる。

* 東京大学医学部附属病院分院 産婦人科

表1 HTLV-1 ウイルス抗原検出率と各PA, EIA, WB 及び IF法による抗HTLV-1抗体の測定結果の関係

PA	EIA			WB			IF		
		+	+/-	-	+	+/-	-	+	-
PA titer									
256<	34/51	34/50	0/0	0/1	33/48	1/2	0/1	34/50	0/1
16-128	2/9	2/2	0/0	0/7	2/2	0/0	0/7	2/4	0/5
<16	1 ¹ /6	0/3	0/1	1/2	1/1	0/1	0/4	1/4	0/2
Subtotal		36/55	0/1	1/10	36/51	1/3	0/12	37/58	0/8
Total	37/66	37/66			37/66			37/66(56.1%)	

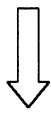
*1 この検体の PA抗体価 は16x(+/-)であった。

表2 母体血中抗HTLV-1抗体陽性検体の臍帯血抗原検出率

	N	Antigen positive	rate
umbilical blood	67 ²	2	3.0%



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:我々は、昭和 62 年より東大産婦人科及びその関係病院の協力を得て、妊娠中の抗 HTLV-1 抗体のスクリーニング検査にて陽性と判定された妊婦の出産時の母体血及び臍帯血中の(リンパ球を分離・培養を施行し、)HTLV-1 抗原の検索を行っている。